

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 770 号	氏名	安井 順一
学位審査委員	主査	由井 克之	
	副査	宇谷 厚志	
	副査	中尾 一彦	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 誘導型バセドウ病マウスモデルにおいて、ヒト型 TSH 受容体 (TSHR) では自己免疫病が誘導できるがマウス型では誘導できないことから、TSHR に対する自己免疫寛容における末梢性機序の関与について解析を行ったもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 バセドウ病誘導の際に、抗体による T 細胞抑制性補助シグナル分子の中和、制御性 T 細胞の除去及び活性化補助シグナル分子の刺激を行い、抗 TSHR 抗体や甲状腺機能を指標にバセドウ病発症を検討しており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、末梢性免疫寛容解除による効果は僅かであり、胸腺に発現する TSHR が免疫寛容維持に重要である可能性が示唆された。バセドウ病発症機構の解明にむけて今後の進展が期待される。</p> <p>以上のように、本論文は甲状腺における自己免疫病発症機構の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			